

#### 4 生徒指導

##### (1) 目 標

- 学校の教育活動すべてを生徒指導の場と考え、一人ひとりの人格を尊重し、自己実現のための啓発・指導・支援をし、すべての児童の個性の伸長を図りながら、学校生活がいきいきと楽しいものになるようにする。
- 基本的行動様式の習慣化を図り、学校・家庭・地域での望ましい生活態度を育てる。

##### (2) 目標達成のための努力点

###### 平成 28 年度 「思いやりいっぱい学校、規律ある学校に」

1 学期：元気にあいさつする。2 学期：よい言葉づかいで話す。3 学期：静かで落ち着いた生活を送る。

- ① 児童が自己の価値や成長を意識しながら、よりよい生活習慣を育成する生徒指導
  - 児童が主体的に取り組める生活目標の設定と実践評価の工夫（目標の振り返り）
  - 明るく落ち着いた生活環境の整備
- ② 思いやりの心に根ざした学級・学年作り
  - お互いの気持ちや立場を大切にできる人間関係づくり（AFPY、PA等）
  - お互いの思いや考えを響き合わせる協同的な学びの授業づくり
- ③ 信頼関係を育てる教育相談の推進
  - 教育相談だより（月 1 回）の発行と教育相談月間等の計画と推進
  - いじめの早期発見のため、全児童対象の「ほっとシート」（毎週水曜日）の実施
  - 生徒指導連絡会・児童の情報交換会等、児童理解のための調査の計画・実施と考察・支援
  - 家庭・地域・関係諸機関等との連携
- ④ 児童の安全確保のための活動
  - 不審者、災害、家庭での問題等への対応（配信メール等）
  - 交通安全指導と緊急時対応措置の徹底（月 1 度の一斉下校の実施）
- ⑤ 全職員の共通理解のもとに行われる、あらゆる生徒指導の共通実践
  - 定期的に行う有効的な生徒指導連絡会の運営
  - 情報の収集及び共有化、共有された情報の活用